

特産ブドウ「竹原キャンベル」仕上がり◎

竹原ブドウ部会は8月5日、竹原市の特産ブドウ「キャンベル・アーリー」の出荷を始めた。同部会の18戸が栽培し、8月16日までに約2.7tを出荷しました。



▲歴史ある特産ブドウ「キャンベル・アーリー」

「キャンベル・アーリー」の歴史は古く、明治時代から栽培されており、程良い酸味と強い香りが特徴です。地域では特産品として「竹原キャンベル」の愛称で親しまれて

います。竹原アグリセンターの下川幸一センター長は「今年は天候に恵まれ、熟度・糖度ともに高品質に仕上がった」と話しました。

イチジク「蓬菜柿」品質確認し本格出荷へ

竹原イチジク研究会は8月19日、イチジク「蓬菜柿」の出荷を始めました。5戸が1haで栽培し、10月下旬までに約9tの出荷を見込んでいます。

8月23日にはJA吉名選果場で目合わせ会を開き、生産者など14人が参加しました。等級別に並べたサンプル品の熟度や色合い、果頂部の割れ具合などを入念に確認し、出荷基準を統一。JA広島果実連の高本大輔技師が収穫や選別の注意点を説明しました。高本技師は「今年は梅雨明け以降の少雨により高糖度に仕上がっ



▲イチジクの品質基準を確認する生産者

ている。是非みなさんに味わってもらいたい」と話しました。

トライアスロン大会で「果実まるごとあらごしスムージー」PR

三原市佐木島で8月18日、第33回トライアスロンさぎしま大会が開かれました。島の活性化を目的に始まった同大会は島民の高齢化により本年度で最後となり、この



▲三原市の岡田吉弘市長もメロンスムージーを購入し、絶賛されました。

日は全国から参加者520人が集まりました。

JA鷺浦アグリセンターと鷺浦支店は7月中旬に新発売した「果実まるごとあらごしスムージー」などを販売。佐木島特産のメロン「みどりの輝き」を原料にした暑い日にぴったりのスムージーは、子どもからお年寄りまで人気を集めました。

同センターの中新夏男センター長は「多くの人に加工品を手にとってもらい、喜んでもらえた。JAとして大会を盛り上げることが出来て良かった」と話しました。

令和6年産米出荷スタート!

三原地域管内で9月4日、令和6年産米の出荷検査が始まりました。11月末までに管内11検査場で約80回の検査を予定し、約2,800tの出荷を見込んでいます。



▲慎重に新米を検査する農産物検査員

検査では、農産物検査員の資格を持つJA職員が米袋からサンプルを抜き取り、変色米や斑点米、成熟割合の他、保有水分量などを検査して等級を格付けします。

今年度は高温の影響で登熟が進み、例年よりやや早く生育。高温

障害とカメムシ被害による品質低下が心配されたため水管理や防除などの対策を呼びかけました。出荷検査は、順調に進んでいます。検査した米は9月下旬からやさふれあい市場三原店・本郷店でも販売していますので是非お立ち寄りください。



水稲

稲わらの有効活用

収穫後の稲わらは、すき込んでしつかりと腐熟させることができれば、地力増進を図る有効な有機物資源となります。

土壌診断がお勧めです!! JAひろしま(三原地域)では、「土壌診断推進事業」に基づき、今年度も土壌診断を無料で受け付けております。

Table 1: 落葉の状態 原因および懸念されること. Columns: 落葉の状態, 原因および懸念されること.

収穫 カキは果皮色を目安に収穫期を判断します。「富有」では果実全体で判断し、「西条柿」はヘタ部と果頂部で判断します。

肥培管理(土づくり・元肥の施用)

毎年高品質果実を生産するためには、樹が細根を多く発生し、養水分を安定的に吸収できるように土壌環境にすることが重要です。

表2 施肥(元肥)と土づくり

Table 2: 施肥(元肥)と土づくり. Columns: 品 種, 成木10a当り植付け本数(目安), 施肥(広島フルーツ元肥866), 堆肥, マリンカル(苦土石灰), エコマグ.

量は表2のとおりです。施肥基準(成木1樹あたり)を参考に施用してください。

堆肥は10a当り1t以上の施用を目標に設定。ただし、未熟な堆肥は施用しない。エコマグ…天然水マグに天然硫マグを混合した苦土肥料。ケイ酸、鉄、マンガン、ホウ素含有。

QR codes and text: 水稲に関する情報をお届けします! LINE, メール配信サービス

Table with 4 columns: 資材名, 特長, 使用法, 写真. Rows: 秋施用 石灰窒素, 秋~春施用 アグリ革命(細粒), 秋~春施用 アグリ革命アクア(液剤).

柑橘

夏が終わるようやく秋の涼しさを感じる季節となりました。いよいよ柑橘の収穫が始まります。

極早生温州の収穫

日南・上野は収穫の時期になりました。味が薄い特徴がありますが、10月の初物みかんとして食味を十分に堪能できます。

アザミウマ着色期の対策

着色が進行する温州みかんに被害を加えるのがアザミウマです。収穫間近のみかんが出荷できなくなる一番の原因ではないでしょうか。

家庭菜園

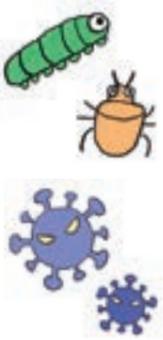
10月になり徐々に過ぎやすい日が多くなってきましたが、病害虫の活動はまだまだ活発です。

防除の考え方

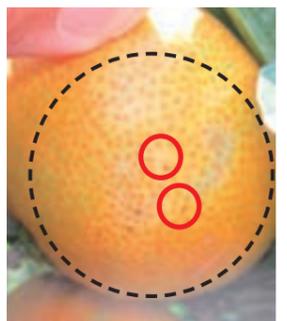
作物の生産力を向上させるためには農薬などによる防除が必要になります。防除によって病害虫の存在を小さく(密度を低く)することができ

上手な農薬(薬剤)の使い方

病害虫の防除で高い効果を得るためには、適正な薬剤を選択し、正しい散布方法で、タイミングよく防除を行なう必要があります。



まで使用回数2回以内)またはスピンノーフロアブル6,000倍(収穫7日前まで使用回数2回以内)を使用してください。



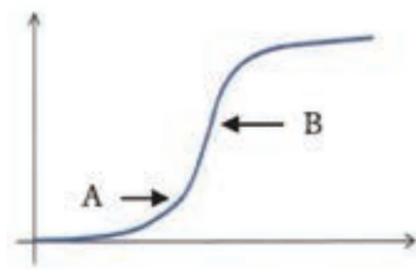
被害の様子とアザミウマ成虫(約1mm)

落葉果樹

今月は、品目によって収穫が終了したものや終盤をむかえているものがあります。樹体では、気温の低下とともに落葉までに貯蔵養分を蓄え、次年度へ向けて準備を始めています。

落葉時期での樹勢判断表(1)

今月頃より落葉期に入ります。通常、健全な樹体管理がされ適正な樹勢では、落葉の時期になると、一斉に揃って紅葉し落葉します。



防除の基本は「初期防除」です。病害虫の発生(密度)が多いBのタイミングより、発生密度の少ないAのタイミングで防除を続けることで病害虫の発生(密度)を長期間少なく抑えることができます。

病害には雨や風などによって伝染するものがあります。害虫も現在被害を出している害虫もいれば、今後飛来してくる害虫もいます。

▶ Information お知らせ

親子で農業体験 in 三原2024 ～稲刈り体験～

三原市高坂町で9月7日、稲刈り体験を行ない、親子18組55人が参加しました！5月に手作業で植えた苗が立派な稲となり、親子で協力しながら鎌を使って収穫！収穫後は、割りばしやすり鉢などを使って手作業で脱穀から精米までを行ないました♪



コンバインの乗車体験



脱穀から精米までを手作業で♪



鎌を使ってかいつぱい刈り取り！



農業用資材の廃棄物の回収について

農業用資材の廃棄物回収を三原市および竹原市内を対象に実施する予定です。

農業用廃プラスチック類、農薬および空容器は産業廃棄物に指定されており、農業者自らの責任で適正に処理することが義務づけられています。

当JAにて廃棄物回収などの事務代行を行ないますので、ぜひご利用ください。

※詳細につきましては、次号でお知らせいたします。



はなみずきの会 ニュース

8/27 役員研修会



家の光8月号の疲労回復ごはんのレシピを参考に、「丸ごとズッキーニの肉巻きソテー」や「しらすと枝豆と豆腐のチヂミ風」を作りました！

その後、座ったまま踊る「椅子フラ」を行ない、曲に合わせて体を動かしました♪

11月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8：30～17：00

【年金相談会 開催時間】

10：00～16：00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原	三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原						三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原					年金相談会 幸崎支店		三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原	廃プラ回収 (竹原地域)	廃プラ回収 (竹原地域)		廃プラ回収 (三原地域)			三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原						